



Nanni Cope

ナンニ・コペ



		○IGT Terre del Volturno - Polveri della Scarrupata テッレ・デル・ヴォルトウルノ ポルヴェリ・デラ・スカルパタ			
	煙	<p>品種：フィアーノ85%, アスプリーノ12%, パラグレッコ・ピアンコ3%</p> <p>植樹：フィアーノ2014年頃、その他1919年頃</p> <p>土壌：火山質</p>	醸造	ステンレスタンクと古樽で醗酵 木樽で13か月間熟成	備考 樹齢の高い煙は自根。新樽は使わないが、心地よい程度の樽熟成感を出すために、1~3年の古樽を使う。
		○IGT Terre del Volturno - Sabbie di Sopra il Bosco テッレ・デル・ヴォルトウルノ サッピエ・ディ・ソープラ・イル・ボスコ			
	煙	<p>品種：パラグレッコ・ネーロ93%、カーザヴェッキア5%、アリアニコ2%</p> <p>植樹：1987年</p> <p>位置：標高200~230m、北西向き</p> <p>土壌：表土は水はけがよい弱アルカリ性。砂82%、泥10%、粘土8%。石灰分に富む。</p>	醸造	ステンレスタンクで浸漬・発酵。 トノー新樽、2年目樽、3年目樽で13か月間。割合はそれぞれ1/3ずつ。ボトリング後、最低でも8ヶ月間落ち着かせてから出荷する。	備考 煙名：ソープラ・イル・ボスコ ソープラ・イル・ボスコ（「森の上」という意味）の名は、古くからこの煙に名付けられていたもので、土地を買った際に気づいた。周りを多くの森に囲まれていることに由来していると考えている。 美しい赤色だが、濃くはない。しかし香りがかぐと、非常に凝縮しており、リッチで多様な香りがする。口に含むと全体に広がり、後口は美しい。味わいはエレガントかつストラクチャーがしっかりとて、やわらかく、複雑味がある。
		○IGT Terre del Volturno - Sabbie di Sopra il Bosco R12 テッレ・デル・ヴォルトウルノ サッピエ・ディ・ソープラ・イル・ボスコ R12			
	煙	<p>品種：パラグレッコ・ネーロ93%、カーザヴェッキア5%、アリアニコ2%</p> <p>植樹：1987年</p> <p>位置：標高200~230m、北西向き</p> <p>土壌：表土は水はけがよい弱アルカリ性。砂82%、泥10%、粘土8%。石灰分に富む。</p>	醸造	ステンレスタンクで浸漬・発酵。 2000Lの大樽で40か月熟成 瓶詰め後3年間ボトル熟成	備考 通常のソープラ・イル・ボスコと土壌や醸造はほぼ一緒とてよいが、素晴らしい年であった12年VTを2000Lの大樽分だけ、長期熟成をさせた。十分に成分を抽出し、樽からのタンニンもあるが、瓶詰め後も3年間寝かせて、味わいがこなれてきてからのリリース。